

東京オート・中村浩志社長 ITセミナーで講演

東京オートの中村浩志社長「写真」が10日、宇都宮市刈沼町の栃木産業プラザ内とちぎ交流産業センターで開催されたセミナーで講演した。これは栃木県産業支援センターが主催するIT活用支援セミナーで、中村社長は「地域のお客さまの『クルマ人生』を全面的にサポートする」と題して、同社の8年間に及ぶIT経営の歩みを紹介した。



これは、栃木県が主催するとちぎ21産業活力創造セミナー「IT活用支援研修」の一環で『不況でも儲かる会社を作る』がテーマ。中村社長は、自社のIT経営における失敗と改善の経緯を詳細に説明。中でも、同社が独自に開発した中古車販売店向けの基幹業務システム「TAS3・0」を中心に、これまでのIT経営の経緯とノウハウを披露した。

TAS3・0には、同社が実践し蓄積してきた経営のエッセンスが詰まっており、同業者にとっては「成功事例を検証でき、自社に見合ったシステムに変更して導入できる」のが利点。自社で積み上げてきたITシステムを同業他社に公開し、その導入を可能にしたのは極めて珍しいケースだ。

(宇都宮)